

因島業界動向

2023年1月～3月

(令和5年1月～3月)

因島商工会議所

【因島経済動向調査(DI方式)報告】

(調査の概要)

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和5年3月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和5年4月～6月の先行き見通し
3. 調査時期 3月初旬～下旬
4. 調査対象 51社(製造業：17社 非製造業：34社)
5. 回収状況 40社(製造業：16社 非製造業：24社)
回答率 78.4%

DI：各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格：DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫：DI = (不足) - (過剰)

従業員：DI = (不足) - (過剰)

～因島景況の総括 令和5年3月期～

全業種DI（良い－悪い）は、▲28（前回12月調査▲20、R4.3月調査▲29）で前回調査から比較すると▲8ポイントとなった。

製造業では、造船・同関連：+25（前回調査+25）で前回調査比と横ばい。その他機械金属：+20（前回調査+20）、食品等▲29（前回調査▲71）で、製造業DIは0（前回調査▲19、R4.3月調査▲18）と+19ポイントとなった。

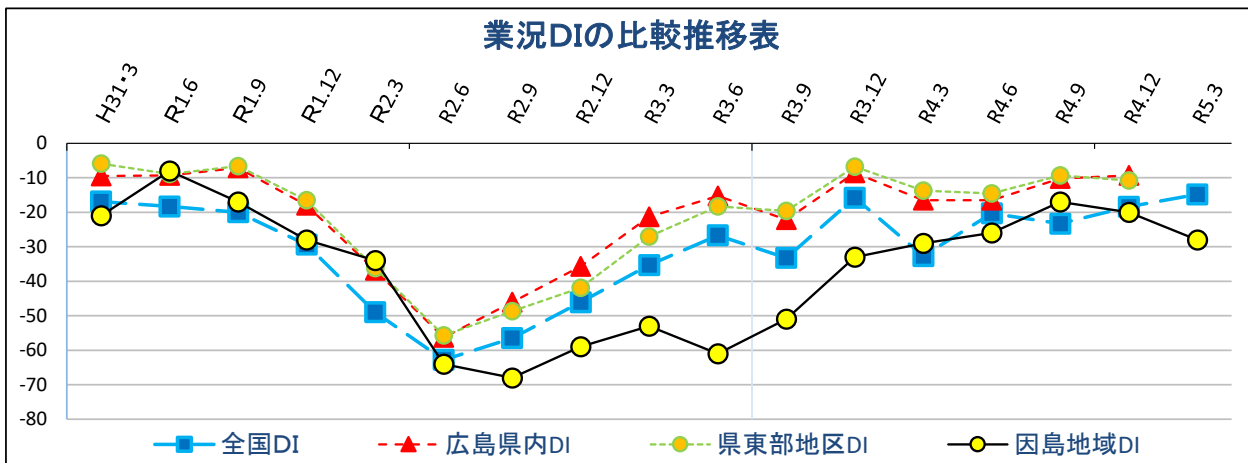
非製造業では、建設業：▲20（前回調査▲25）、卸売業：▲67（前回調査0）、小売業：▲75（前回調査▲67）、運輸・サービス業：▲37（前回調査▲16）で、非製造業DIは▲48（前回調査▲22、R4.3月調査▲36）で前回調査より▲26ポイントとなった。

【製造業】

民間・公共工事の減少があり、土石製品関連では景況悪化。造船関連では受注量の増加に伴い好転。自転車部品関連も受注増となった。しかし住宅市場の低迷で木製品関連は販売量が減少した。

【非製造業】

飲食業関係ではコロナに左右されながらも堅調を維持。工事用車両レンタル事業者は土石製品関係と同様に民間・公共工事の減少の煽りを受けた。また、工事の延期による当期受注減も見られた。



【令和5年3月期 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R4.3月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	10%	52%	38%	▲28.0
(前回)	18%	44%	38%	▲20.0
(前年同月)	11%	49%	40%	▲29.0
製造業(当月)	19%	62%	19%	0.0
(前回)	19%	44%	38%	▲19.0
(前年同月)	13%	56%	31%	▲18.0
非製造業(当月)	4%	44%	52%	▲48.0
(前回)	17%	44%	39%	▲22.0
(前年同月)	11%	42%	47%	▲36.0

【令和5年4月～6月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI（良い－悪い）は▲10（前回12月調査▲23、R4.3月調査▲28）と前回調査から+13ポイントの見通しである。

製造業では、造船・同関連：+50（前回調査+25）と+25ポイント、機械金属：+20（前回調査+40）、食品等▲29（前回調査▲71）で、製造業DIは+6（前回調査▲12、R4.3月調査▲13）で+18ポイントの見通し。

非製造業では、建設業：▲40（前回調査▲25）、卸売業：▲16（前回調査▲20）、小売業：▲75（前回調査▲33）、運輸・サービス業：+12（前回調査▲50）で、非製造業DIは▲22（前回調査▲33、R4.3月調査▲42）で+11ポイントの見通しである。

【製造業】

造船関連業種並びに自転車自動車部品製造は引き続き堅調を維持する見通しとなっている。造船関係は新規受注量は不透明ではあるものの、数値上では大幅改善の見通しとなっている。

【非製造業】

4年ぶりに制限のないゴールデンウィークを迎える為、インバウンド等の観光需要が大きく見込まれる予測もあり、観光関連事業はマイナス水準ながらも大幅プラスの見通し。

【令和5年1月～3月の先行き見通し 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R4.3月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	18%	54%	28%	▲10.0
(前回)	12%	53%	35%	▲23.0
(前年同月)	6%	60%	34%	▲28.0
製造業(当月)	25%	56%	19%	6.0
(前回)	19%	50%	31%	▲12.0
(前年同月)	6%	75%	19%	▲13.0
非製造業(当月)	13%	52%	35%	▲22.0
(前回)	6%	55%	39%	▲33.0
(前年同月)	5%	48%	47%	▲42.0

～因島生産額・売上の総括 令和5年3月期～

全業種DI（良い－悪い）は▲12（前回12月調査▲9、R4.3月調査▲23）で▲3ポイントとなった。

製造業では、造船・同関連：+75（前回調査+50）、機械金属：+20（前回調査+80）、食品等0（前回調査▲71）で、製造業DIは+25（前回調査+7、R4.3月調査▲0）で+18ポイントとなった。

非製造業では、建設業：▲40（前回調査▲50）、卸売業：▲50（前回調査▲20）、小売業：▲50（前回調査▲34）、運輸・サービス業：▲25（前回調査0）で、非製造業DIは▲39（前回調査▲22、R4.3月調査▲42）で、前回調査から▲17ポイントとなった。

【製造業】

造船関連は海上運賃の下降と鋼材価格の上昇による費用削減要求が強くなっている為プラス幅は前回調査より減少。印刷業関連では統一地方選挙による受注増があった為、売上増となった。

【非製造業】

原材料高と人件費高騰により食料品卸、ホテルは収益が悪化。海外からの輸入商品が入りにくい状態も依然続いており、商品販売量減少による売り上げ減もあった。

【令和5年3月期 売上DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R4.3月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	26%	36%	38%	▲12.0
(前回)	26%	39%	35%	▲9.0
(前年同月)	20%	37%	43%	▲23.0
製造業(当月)	44%	37%	19%	25.0
(前回)	38%	31%	31%	7.0
(前年同月)	31%	38%	31%	0.0
非製造業(当月)	13%	35%	52%	▲39.0
(前回)	17%	44%	39%	▲22.0
(前年同月)	11%	36%	53%	▲42.0

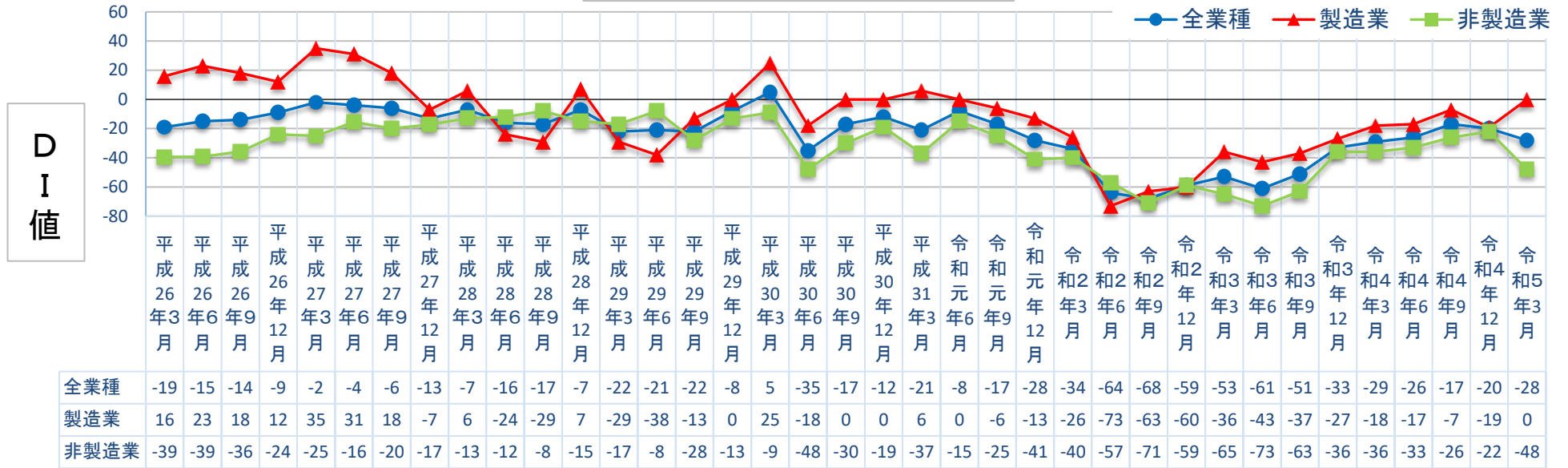
【令和5年4月～6月の先行き見通し】

全業種DI（良い－悪い）は+15（前回12月調査▲23、R4.3月調査▲18）で前回調査から見ると+38ポイントの見通しである。

製造業では造船・同関連：+75（前回調査+50）、機械金属：+20（前回調査+20）、食品等▲29（前回調査▲57）で製造業DIは+12（前回調査▲6、R4.3月調査▲12）で前回調査より+18ポイントの見通し。

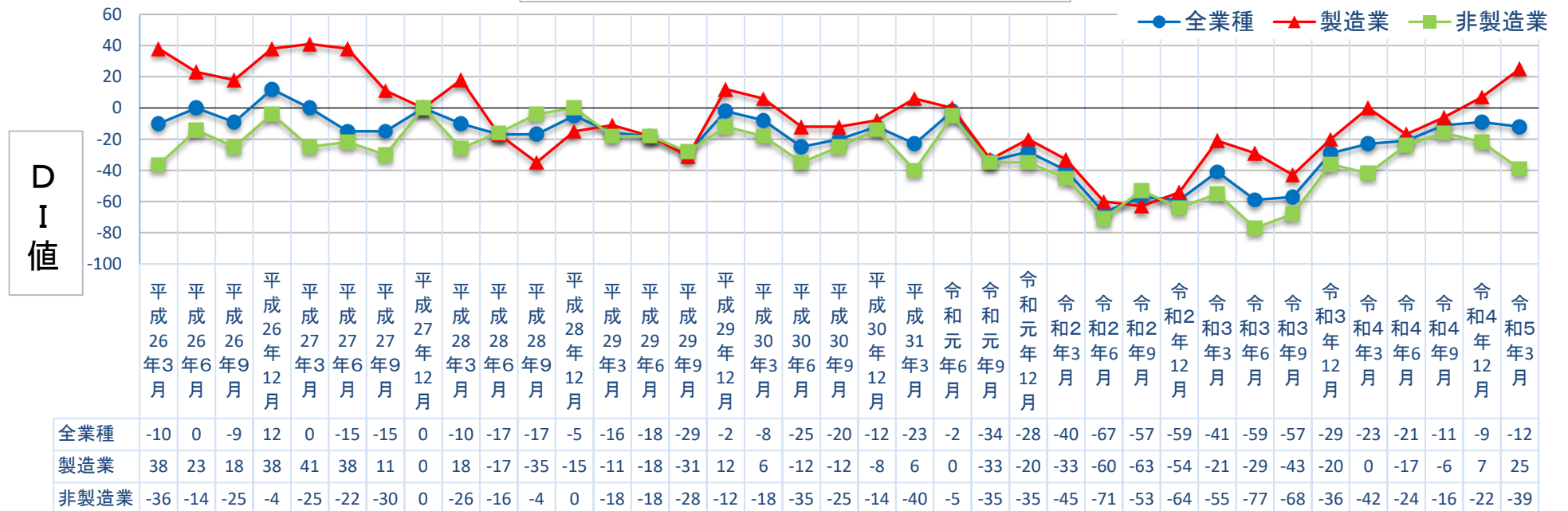
非製造業では、建設業：▲60（前回調査▲25）、卸売業：+17（前回調査▲40）、小売業：+100（前回調査▲33）、運輸・サービス業：+25（前回調査▲50）で非製造業DIは+17（前回調査▲39、R4.3月調査▲21）と前回調査より+56ポイントの見通し。

因島地域の景況感の推移



3

因島地域の生産額・売上額の推移



3. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位：百万円、%)

項目 年月		残 高 合 計					
		預 金	前年同月 比	貸出金	前年同月 比	預貸率	前年同月 差
令和3年度末		138,465	104.3%	52,814	101.4%	38.1%	-1.2
R4 年度	第1 / 四期末	139,759	102.8%	52,861	100.9%	37.8%	-0.7
	第2 / 四期末	139,775	107.5%	53,356	102.8%	38.2%	0.0
	第3 / 四期末	138,822	106.2%	53,262	100.0%	38.4%	-0.5
	第4 / 四期末	137,023	99.5%	53,395	100.5%	39.0%	0.4

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。 ※第4四期は2月末現在値

4. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位：件、百万円)

項目 年月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	
令和3年度		0	0.0	0	0.0	年度計
R4 年度	第1 / 四期末	0	0.0	0	0.0	期 計
	第2 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第3 / 四期末	1	100.0	531	531.0	〃
	第4 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	合 計	1	100	531	531	年度計

(株)東京商工リサーチ広島支社調)

5. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位：人、倍)

項目 年月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前年比 (%)	人 数	前年比 (%)	倍 率	前 年	
令和3年度平均		2,966	108.7%	2,090	102.3%	1.42	1.34	
R4 年度	第1 / 四期	2,832	99.8%	2,124	91.0%	1.33	0.12	
	第2 / 四期	3,095	107.3%	1,932	92.5%	1.60	0.22	
	第3 / 四期	3,158	105.0%	1,813	90.6%	1.74	0.24	
	第4 / 四期	3,123	99.6%	1,524	78.7%	2.05	0.43	
	4年度平均	3,052	102.9%	1,848	88.2%	1.68	0.25	

注：新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第4四期は2月末時点の暫定値

6.【経営改善資金推薦状況】

(単位：件、万円)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金 額	前年比 (%)
令和3年度		22	61	20,480	65	17,423	3,057	23	20,680	70.2
R4 年 度	第1／四期末	4	57	2,970	62	1,910	1,060	4	2,570	51
	第2／四期末	4	80.0	2,300	49.3	2,300	0	2	2,300	50.5
	第3／四期末	5	125.0	3,160	79.0	2,220	940	4	2,400	58.3
	第4／四期末	5	83.3	2,150	30.8	1,930	220	4	2,650	37.9
	合 計	18	81.8	10,580	51.7	8,360	2,220	14	9,920	48.0

(因島商工会議所調)

7.【因島商工会議所会員数】

(単位：者、社)

区 分	12月31日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	3月31日現在 会 員 数
法 人	480	2	4	478
個 人	445	2	7	440
合 計	925	4	11	918

※注：組織変更含む

8.【今期のアンケート調査結果】

回答件数 28件

新卒採用の充足状況について、業界動向調査事業所内では「新卒の採用を実施していない」事業所が13社と最多となった。その他、「採用活動を実施しなかった」事業所が8社、「計画人数に届かなかった」事業所が4社と前年より増加した。本調査において、ほぼすべての業種で全期間人材不足の回答が目立つ結果となり、当年度の人材確保に苦戦した事業所が目立つ結果となった。

